

千葉県道路愛称名地図



平成元年4月
千葉県

水戸街道 Mito-Kaidō 国道6号

起点及び終点
松戸市上矢切新葛飾橋から
我孫子市北新田大利根橋まで 22.9km

徳川御三家の一つ水戸家と結ぶこの街道は、五街道と並ぶほど重要視された街道で、現在も幹線となっており、水戸街道の名称で親しまれている。



手賀沼の夕日

東金街道 Togane-Kaidō 国道126号

起点及び終点
東金市台方国道128号交差点から
千葉市中央2丁目広小路交差点まで 24.8km

古くは、船橋から東金に通ずる御成道が東金街道と称されていたが、現在は、国道126号の東金・千葉間の方が一般的に東金街道として定着して親しまれている。



日吉神社の森

木下街道 Kioroshi-Kaidō (主)市川印西線

起点及び終点
市川市鬼越2丁目国道14号交差点から
印旛郡印西町大森国道356号交差点まで 23.2km

古くは、別名生街道、銚子街道とも称されたが、一般的に木下街道が定着している。江戸時代には、銚子方面から鮮魚や醤油の運搬路として利用された。



鎌ヶ谷大佛

大網街道 Oami-Kaidō (主)千葉大網線

起点及び終点
千葉市新明町国道16号交差点から
山武郡大網白里町経由国道128号交差点まで 23.2km

歴史的な由来はないが、県都と九十九里を結ぶ幹線であり、一般的に大網街道の名称で定着して親しまれている。

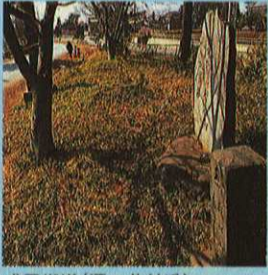


宮谷県庁跡

成田街道 Narita-Kaidō 国道296号(市)生谷舟戸線 (市)勝田台長熊線 国道51号

起点及び終点
船橋市前原西1丁目(主)船橋我孫子線
中野木交差点から成田市寺台寺台インターチェンジまで 37.4km

江戸時代は、佐倉藩や成田山新勝寺参詣の街道として栄え、房総を代表する街道である。現在も成田方面への幹線であり、一般的に成田街道の名称で親しまれている。



成田街道(酒々井付近)

茂原街道 Mobara-Kaidō (主)千葉茂原線

起点及び終点
千葉市浜野町国道16号交差点から
茂原市高師町国道128号バイパス交差点まで 22.5km

歴史的な由来はないが、県都と外房を結ぶ幹線であり、一般的に茂原街道の名称で定着して親しまれている。



ひめはるの里

千葉街道 Chiba-Kaidō 国道14号

起点及び終点
市川市市川3丁目 市川橋から
千葉市中央2丁目広小路交差点まで 26.5km

古くから東京と、房総各街道の分岐である千葉の間は、千葉街道と呼ばれ、一般的に定着している。

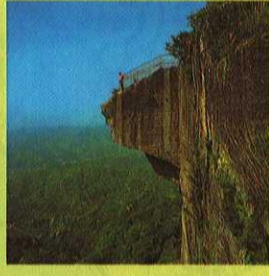


千葉港

長狭街道 Nagasa-Kaidō (主)鴨川保田線

起点及び終点
鴨川市横者国道128号バイパス交差点から
銚子市保田町保田国道127号交差点まで 26.5km

南房総における古街道の一つで現在でも長狭街道の名称で親しまれている。

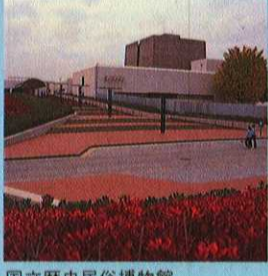


鏡山山頂

佐倉街道 Sakura-Kaidō 国道51号 (主)佐倉印西線

起点及び終点
千葉市中央2丁目広小路交差点から
佐倉市海隣寺町海隣寺交差点まで 19.0km

江戸時代は、成田街道の別称を佐倉道とも称したが、現在では、国道51号の千葉・佐倉間が佐倉街道として定着して親しまれている。

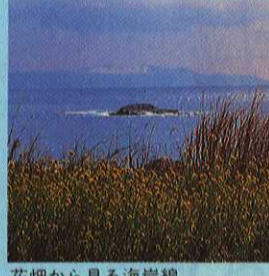


国立歴史民俗博物館

房総フラワーライン Bōsō-Flower Line

起点及び終点
館山市館山下町交差点から
安房郡和田町下三原国道128号交差点まで 46.3km

千葉県の有料道路の魁として昭和41年3月に完成したフラワーラインを中心とする道路は、温暖な気候に恵まれ真冬、菜の花等咲き市民マラソンが催される、名実ともにその名称は定着しており建設省主催の全国道路百選の一つに昭和61年に選定された。



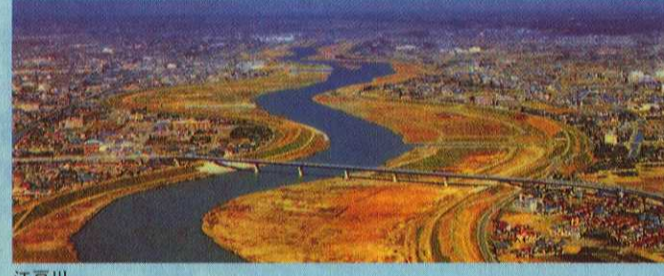
花畑から見る海岸線

流山街道 Nagareyama-Kaidō

(主)松戸野田線
(主)結城野田線
起点及び終点
松戸市根本町松戸停車場線から
関宿町境大橋まで 38.0km

松戸街道 Matsudo-Kaidō (主)市川松戸線

起点及び終点
市川市市川国道14号交差点から
松戸市小山(主)松戸草加線まで 4.6km



江戸川

茨城、埼玉県際から、江戸川左岸を貫通し東京湾に臨み千葉県外周部幹線道路を形成するとともに、産業経済の重要路線であり、古くからは江戸川水運とも河湊を有し、江戸・東京への重要な物流の役割を果たしていた。また、第2次大戦期までは軍用道としても機能し、現在では沿道の醤油・味噌事業所、文教地区の大量物流をさばっている幹線道路である。

房総スカイライン Bōsō-Sky Line

(主)君津丸山線
(主)君津清和線
(主)南房総公園線
(房総スカイライン有料道路、鴨川有料道路)

起点及び終点
君津市内箕輪国道127号交差点から
鴨川市横者国道128号交差点まで 35.7km

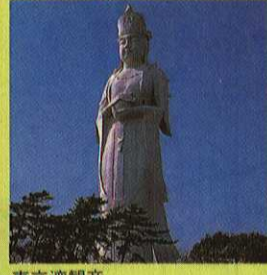


鹿野山から富士を望む

東京湾岸の日本屈指の工業地帯市原、君津両市から県内陸山間地帯の県内有数の景勝の地を経由し、観光・リゾート地鴨川地域外房黒潮ラインと結ぶ、観光・リゾート路線であり、古くは木更津港からの鹿野山信仰道でもあった。将来にかけても余暇時間の増大のなかで、この道路が果たす役割は一層強まるものと考えられる。

内房なぎさライン Uchibō-Kuroshio Line 国道127号 市道3106号 (一)館山港線

起点及び終点
木更津市桜井16号交差点から
館山市沼みやぎ三叉路まで 54.0km

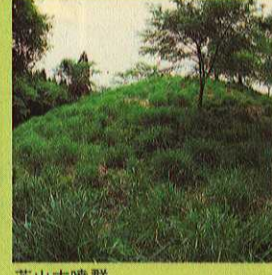


東京湾観音

内房を代表する道路で、沿線には波静かな海水浴場を控え、金谷港は房総半島の玄関であり通年にわたり、観光客の利用が多い。また、内房の唯一の幹線道路であり、房総半島突端洲崎、野島崎、千倉経由の観光・リゾート幹線「房総フラワーライン」と接続し、観光リゾート県の機能充実へ期待が大きい。

芝山はにわ道 Shibayama-Haniwa Dō (主)成田松尾線 (主)松尾蓮沼線

起点及び終点
成田市木戸前国道51号交差点から
蓮沼村(主)飯岡一宮線交差点まで 35.9km

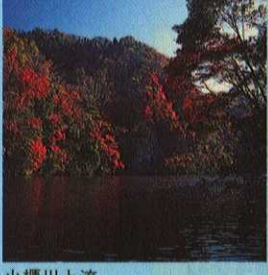


芝山古墳群

古くから観光・信仰の町であった成田から、わが国固有の海岸線として知られる九十九里浜に直線で道路を形成し、中間地点には多くの文化史跡があり、文化・信仰と物流道として機能してきた。

清澄養老ライン Kiyosumi-Yōrō Line (主)市原天津小湊線

起点及び終点
市原市牛久国道409号交差点から
天津小湊町天津国道128号交差点まで 37.8km



小櫃川上流

東京湾岸、京葉コンビナートの中心地市原市から、県立養老溪谷奥清澄自然公園を経由し、日蓮誕生の門前町として江戸時代から発展してきた臨海リゾート地、天津小湊町を結ぶ古くから観光・リゾート信仰の道である。今や都市化、工業地帯化した東京湾岸と、黒潮いぶく外房を結ぶ人・物流の最短幹線道路の一つに位置づけられている。

房総横断道路 Bōsō-Ōdan dōro 国道409号 国道128号

起点及び終点
木更津市長須賀国道16号交差点から
一宮町鳴山(主)飯岡一宮線分岐点まで 45.9km

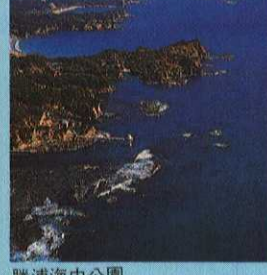


東京湾横断道路完成予想図

江戸時代から外房の物資集散地茂原から、江戸湾内木更津港までの半島横断道として機能していた。今日では東関東自動車道・館山線と接続し、近い将来には、東京湾横断道路と交差し、「千葉県三角構想」具体化の一端を大きく担う県中央部における重要幹線道路であり、半島横断の物流に果たす役割に大きな期待が寄せられている。

外房黒潮ライン Sotobō-Kuroshio Line 国道128号 勝浦有料道路 鴨川バイパス 天津バイパス

起点及び終点
館山市北条127号交差点から
一宮町鳴山(主)飯岡一宮線分岐点まで 73.0km

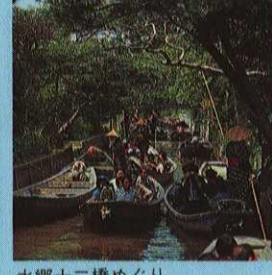


勝浦海中公園

外房の主要な観光・保養地を貫く幹線で、四季にわたり観光客の通行があり、128号、房総フラワーラインと結び、岩礁を洗う雄大な黒潮房総を代表する・観光リゾート幹線である。

佐原街道 Sawara-Kaidō 国道51号

起点及び終点
成田市寺台インターから
佐原市水郷大橋まで 23.3km



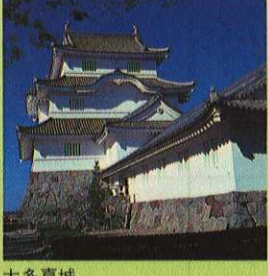
水郷十二橋めぐり

観光拠点である成田山と水郷佐原・利根川を結ぶ観光・リゾート・信仰路線であり、また千葉隣接県都水戸を連絡する北総の地域の人物流幹線である。

大多喜街道 Ōtaki-Kaidō 国道297号

起点及び終点
市原市八幡町国道16号交差点から
勝浦市墨名町国道128号交差点まで 50.0km

県都千葉市と外房を連絡する幹線道路で江戸時代には本多忠勝の大多喜城、ならびに勝浦、舞鶴城の存在から参勤交替の重要な道でもあった。現在では、産業流通の動脈だけでなく、沿線にはゴルフ場が多く開発されており、レジャードライバーの利用道として機能が強い道路の一つに位置づけられている。

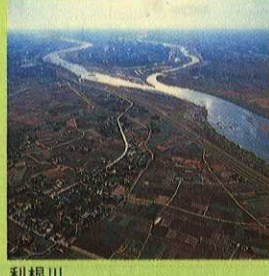


大多喜城

利根水郷ライン Tone-Suigō Line 国道356号 (一)我孫子利根川線

起点及び終点
銚子市三軒町国道126号交差点から
我孫子市国道6号線合流点まで 94.9km

千葉県の最東、最西部を利根川に沿って結ぶ東域外周部を形成する主要幹線道路であり全国有数の銚子漁港、そして、県北部地域穀倉地帯の物流動脈を担うとともに沿線は雄大な利根川の流れを眺望する大水郷地帯としての観光・リゾート道路の役割をも担っている。



利根川

九十九里ビーチライン Kujūyūkuri-Beech Line (主)飯岡一宮線 九十九里有料道路

起点及び終点
飯岡町下永井国道126号分岐点から
一宮町鳴山国道128号合流点まで 58.9km

九十九里海岸の北端から南端まで海岸線に沿って一直線に連絡し、127号、房総フラワーライン、128号と結び、これら路線とともに房総半島外周部海岸の観光・リゾート幹線道路を形成する主要幹線である。四季を通して海洋リゾートレジャーの拡大が一層見込まれるなかで期待は大きい。



九十九里海岸

空港通り Kūkō-dori 国道295号

起点及び終点
成田市寺台インターから
成田市国際空港まで 5.7km



新東京国際空港

国内外の出入国者が多く、日本最大の空の玄関口としての成田国際空港と他幹線道路を直結する重要な道路である。